

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名： アプリ児童デイサービス習志野
自己評価実施職員数： 8人					検討会議実施日： 令和3年1月28日
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	0	
	② 職員の配置数は適切であるか	2	5	0	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	0	背が低いお子さんだと手洗い場が高くてやりにくいので、踏み台などを用意する。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	6	0	実行できていても振り返りが弱いと感じている。支援に関してはミーティングの中で、業務に関しては面談を通して振り返りの機会を増やしていく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5	0	改善点をわかりやすくまとめて、抜けもれなく実施できるようにする。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	6	0	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7	1	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	5	0	研修を行っているが、参加できない職員もいるので内容の共有が課題。議事録だけでなく説明もつけるとより理解が出来ると思う。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	5	0	新しい職員が多くよくわからないとの回答が多くなってしまった。研修を通して放デイについての理解を促せるようにする。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	7	0	標準化されたツールはなく、児発管が様々な課題を提供し図っている。基準となるツールがあるとより良いので、検討と作成が課題。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	0	短時間のパート職員をチームに加えることが出来ていないので積極的に役割を振る。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	交替わりで大きな活動内容を決めているが、制作などが終わりにやることなくなる児童もいる。そういった空き時間の為の制作なども準備出来るようにする。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4	0	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	個別支援計画への理解を深める研修を行う。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	2	全員参加は難しくとも、終礼を行う習慣を作る。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3	0	記録は取っているが、振り返りが弱く感じる。終礼を行い振り返りの時間を設けていく。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	5	0	個別支援計画への理解を深める研修を行う。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1	7	0	ガイドラインへの理解が浸透していないので施設内研修で理解を広める。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	1	放課後等デイサービスを含む障害福祉のサービスなどを学ぶ研修を行う。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	4	0	行う職員が限られているので、すべての職員が行えるよう働きかけをする
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6	0	現在は医療的ケアが必要な児童がいないが、今後の為に課題として検討していく。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	8	0	保護者との情報共有はあるが事業所などはほとんどない。よりよい支援の為、情報共有の働きかけを惜しまない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	6	2	まだ卒業生を送り出した経験がないが、情報提供がスムーズに行えるような準備は怠らない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	8	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	4	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	7	0	まずは職員向けにペアレントトレーニングの研修を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	6	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	5	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	2	コロナ禍が明けたらすぐに開催できるようプランは練っておく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	5	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	5	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	5	3	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	5	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	1	コロナ禍が明けたらすぐに開催できるようプランは練っておく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	1	保護者への配布を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	6	1	参加している職員が偏っているので全員が参加できるよう配慮する。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	5	0	参加している職員が偏っているので全員が参加できるよう配慮する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	5	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4	0	誰で記入し確認できるようわかりやすい場所に置く。

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

非常時のマニュアルの配布が必要。
サービスに満足してくれている方ばかりで嬉しかった。
コロナ禍が明けたら保護者会を開きたい。